



# 全力投球

「新年、おめでとうございます」お正月早々に2日続けての積雪。真っ白な雪に心を洗われてのスタートです。保護者、地域の皆様には、本校への温かく、熱きまなごしを、どうかよろしく願います。  
【石部中 77-3781】

## 震災から4年近く ～福島県富岡町を訪ねて～

校長

郡山から高速常磐道を走り、いわき市、広野町を通過、まずはJR富岡駅へ。真ん中で折れた電柱が立つホームと屋根の鉄骨だけが残った駅舎の向こう側には太平洋が見え、その間には、うず高く積まれた除染の土袋が幾重にも重ねて置かれており、まるで黒い堤防のようである。ホーム内の線路上には、放置されたままの車が1台。後方に目をやると、駅前の数軒のお店は1階が骨組みだけの状態となり、窓ガラスや壁などもなく、屋内の机やイスが散乱しているのがまる見えであった。家屋の横にも3、4台の車が横を向いたり斜め向いたりしたままである。ここが、4年近くもの間、だれ一人として暮らしていない町の玄関口である。遠くに見える太平洋の美しいブルーとは対照的である。駅前の線量計は0.3の数値を示していた。



車は富岡第一小へ。敷地内は最も早く除染作業が行われたものの、4年間だれも走らない運動場は、道を挟んだ富岡第一中も同じく一面草だらけ。在りし日の子どもたちの姿や歓声を想像してみるが、現実の光景は寂しい限りである。そして、車は町役場へ。ここでは、津波が押し寄せた時に対策本部となった建物に入らせてもらうことに。富岡町の入り口で受け取った防護服(帽子、マスク、手袋、白い上着とズボン、靴を履いたまま足を入れるビニール袋)に身を包んで2階へ。

入り口には、震災当日催しを行っていた講演会の受付がそのままの状態。部屋に入ると、机を寄せた大きなテーブルの上に広げられた何枚かの地図。別の机の上には箱に入ったままのアルミホイールで包んだおにぎりや乾パンの缶、ボンカレーの箱が数個目にとまった。前のホワイトボードには、道路状況や死者、行方不明者の名前がカタカナで記されていた。ここに対策本部を立ち上げたものの、まもなく放射線の危険性が伝えられ、全町民すべてに川内村への避難指示が出されたとのこと。この部屋も当時のままである。ところが、その後、避難した川内村も放射線の線量が高いことから、再び郡山に避難することに。富岡町は2つの幼稚園に2つの小学校、中学校があり、震災前は小中で900名いた子どもたち。現在、三春町の仮校舎に通っているのは幼、小、中を合わせて59名。年配の方々は、「いずれ富岡へ」の気持ちを持っておられるが、震災後4年近くも経つと「避難先が新天地」になってくる年代も多いと聞く。

私たちのすぐ近くで発生した阪神淡路大震災からは、すでに20年。言葉に言い表せない思いを抱き、その思いを乗り越えようとしておられる人々のことは、機会あるごとに忘れずにいたいものである。



### 学校評価① 〈生徒アンケートより〉 ～来月号は保護者と地域アンケート編～

◇12月実施の「学校評価・生徒アンケート結果」の一部を昨年度と比べて紹介します。 ※数字は全校の%です

	できている	だいたい	あまり	できていない	
①毎日きちんと朝食を食べて学校へ来ることができていますか。	H25.12 83	11	5	1	
	H26.12 84	11	4	1	
◇毎日きちんと食べていない生徒が5%も!					
②朝や帰りには、出会った人に自分からあいさつができていますか。	H25.12 40	47	11	2	
	H26.12 43	46	10	1	
◇「自分からのあいさつ」100%を目指して!					
③朝の10分間読書で、進んで本を読むことができていますか。	H25.12 58	27	12	3	
	H26.12 56	29	12	3	
◇1年間持続するのは難しいことです!					
④学級では、安心して授業を受けたり、休み時間を過ごすことができていますか。	H25.12 32	48	15	5	
	H26.12 37	45	14	4	
◇約20%(5人に1人)が安心してできていない!					
⑤今、学校の勉強で難しくて分からない教科がありますか。		ある	少しある	あまりない	ない
	H25.12 22	39	33	6	
	H26.12 25	34	34	7	

## 今年「近畿中学校道徳研究大会」

昨年度と今年度の2年間、文科省指定による「道徳教育推進」の指定を受け、市内の三雲小、三雲東小とともに県教育委員会と市教育委員会の助言を仰ぎながらの研究を進め、その成果として昨年11月には研究発表大会を開催させていただきました。

そして、今年近畿地方持ち回りの「近畿中学校道徳研究大会・滋賀大会」において、本校が中学校の部の会場をお引き受けし、11月20日には全学級授業公開による発表を行うことになっています。

この2年間研究を積み重ねてきた成果の上に、さらに1年間、教職員全員で道徳の授業をはじめ、体験活動による実践力、そして地域と一体となった取組を加味しながら、生徒とともに成長していきたいと思いません。発表当日は、ご遠慮なく参観にお越しください。

## 平成27年 1月後半～2月の行事予定

### 1月

- 23日(金)・英語検定
- 29日(木)・人権に関する授業研究会
- 30日(金)・2年生心電図検査

### 2月

- 2日(月)・県内私立校入試
- 3日(火)・ジャンプ交流(石小)
- 5日(木)・ジャンプ交流(南小)
- 6日(金)・PTA役員決定会議
- 12日(木)・全校集会
- 14日(土)・人権フェスタ  
(石部文化ホール)
- 26/27日・3年学年末テスト(2日間)  
(PTAあいさつ運動は3月2～4日です)

## 石部中校区 人権フェスタ 2月14日(土) 13:30～ 1年ぶりの「JERRYBEANS(ジェリービーンズ)」 ～今年も満員の参加者で石部文化ホールを熱くしたい!～

この人権フェスタは、石中PTA、石中PTA人権研修部を含む石部地域の保育園、幼稚園、小学校、石部高校、三雲養護学校のPTA、さらにはまちづくりセンター、松籟会館が一緒になって企画、運営をする年に1回の催しです。今年、昨年度の人権フェスタで絶賛いただいたジェリービーンズを1年ぶりに迎えるのコンサートです。JERRYBEANS(3人のバンド)の共通点は、小学生、中学生の時、部屋に引きこもったり、学校へ行けなかったこと。昨年は、自分たちの思いを歌や語りで、正直に、生々しく表現してくれた彼らが、今回は「共生(ともに生きよう)」のテーマでステージに立ってくれます。

すでに、各園、各学校等では参加を募る案内が配布されています。石部地域にお住まいの方で、興味、関心のある方も、ぜひ来場してください。入場は無料です。とにかく、今年も石部文化ホールをいっぱいすることが願いです。当日は、石部中の生徒、石部高校の生徒、近江学園の子どもたちが、一緒にステージを飾ってくれたり、スタッフとして働いてくれたりします。親子で参加していただくのにふさわしいコンサートです。みなさん、ぜひお越しください。お待ちしております。

### 3学期「本の読み聞かせ」継続 「ミシン学習」支援も今月から

今年度も昨年度に引き続き、いくつかの内容でボランティアさんが学校に来てくださっています。「朝の読書」(4名)、「木工学習支援」(4名)、「面接練習支援」(4名)、「環境整備」(延べ20名)でご厄介になりました。3学期は「本の読み聞かせ」を継続していただいているのに加え、昨年と同じく1年生の「ミシン学習支援」に4名の方が来てくださっています。生徒たちは経験のないミシンによる裁縫を、地域のベテランの方に教えていただき、楽しく有益な学習を積んでいます。今後も中学校の学習の場面で生徒の力をより伸ばすためにも、地域の方の力をお借りすることがあるかもしれません。その節には、何卒ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

### ジャンプ交流2回目 2/3石小・2/5南小へ

昨年11月にはジャンプ交流第1弾として両小学校6年生を本校に招き、部活動の体験を実施しました。

2月は第2弾として、今度は中学校から両小学校に出向き、保護者向けの入学に際しての説明や生徒会役員による6年生への学校行事を含めた説明会を行います。石部小学校へは2月3日に、南小学校へは2月5日に、いずれも午後の時間帯に伺うことになっています。いよいよ、あと2か月と少しで心待ちにしている新入生が入学してくれます。

今年も =石中生のさわやかなあいさつで、  
住みよい石部の地域づくりに貢献しよう! =